

令和4年度第1回北見方面紋別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和4年6月20日（月）午後4時00分から午後5時10分までの間

2 開催場所

紋別警察署大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 7人（定員7人）

会 長	関 原 功 三
副 会 長	河 野 みどり
委 員	井 上 秀 幸
委 員	田 中 誠
委 員	鎌 田 真智子
委 員	栗 原 務 緒
委 員	桜 木 恵

(2) 警 察 署 8人

署 長	高 畠 敏 之
副 署 長	藤 井 貴 雄
会 計 課 長	河 原 慎 二
地 域 課 長	吉 田 昌 光
刑 生 課 長	田 口 章 文
警 備 課 長	瀬 戸 貴 博
交 通 課 長	川 嶋 久 佳
警 務 課 長	小 山 克 行

4 会長挨拶

署長以下、4月の人事異動後、初めての開催であります。

本日は、「被害者支援の現状と警察の取組」、「最近の犯罪発生状況」という地域住民に関心の高いテーマについて、説明を受けることになっております。

また、このテーマ以外につきましても、警察活動に関する要望や意見などがございましたら、この場で意見交換をしてまいりたいと思います。

5 署長挨拶

警察署協議会は、署長が署の業務運営に民意を反映させるため、その在り方について住民等から意見を聴き、また、業務運営について住民等に説明し、その理解と協力を求める場であります。

本日は、皆様から貴重なご意見をいただき、これを真摯に受け止めて、今後の警察署の運営に役立てて行きたいと考えております。

6 諮問事項

(1) 被害者支援の現状と警察の取り組みについて

委員～ 以前、被害者遺族の講演で、警察の捜査や報道等による二次被害の話をお聴いたことがあるが、今日の話でも被害者や家族の方には関係各機関や民間による支援や何でも相談できる窓口が必要であると感じた。

署説明～ 犯罪被害者とその家族に必要な支援について、関係機関と連携して対応してまいります。

また、警察では、被害者への直接的な支援ばかりではなく「ひまわりの絆プロジェクト」、「命の大切さを学ぶ教室」の開催など、社会全体で被害者を支える気運の醸成も重要であると考えて、啓発活動を実施しています。こうした活動について、少しでも理解していただける方が増えれば、被害者支援につながると思います。

委員～ 私も家族を交通事故で亡くしており、被害者家族の気持ちはよく理解できる。一方、加害者もそこからの人生が大きく変わり、ある意味では被害者となる。

また、加害者が自分の子供と同年代であったことから、同情心から憎むこともできず、複雑な気持ちであった。

署説明～ 被害者も加害者も人生設計が狂うことには変わりありません。

警察は関係機関・団体と協力し、各種犯罪や交通事故を抑止するための活動を推進し、被害者を生まない社会の構築を目指していきたいと考えています。

委員～ 交通死亡事故の現場などに花束やお菓子、ジュースなどが置かれていることがあるが、風などで散逸する場合がある。

これらの対応は、どこでしているのか。

署説明～ 近所の方が片付けている場合が多いと思うが、道路に散逸しているなどの状況があれば警察に通報してほしい。

道路管理者等とも連携し、対応します。

(2) 最近の犯罪発生状況

委員～ 以前、子供が東京に行った時に、子供の携帯電話に知らない人から「おじさんを覚えているかい」という電話があった。

東京に来ていることを知っているようであり、身内しか知らないことをなぜ知っているのか。とても怖いと感じたが、そういう時でも警察に連絡していいのか。

署説明～ 事件や事故ばかりでなく、少しでも不安を感じたり、心配なことがあれば、すぐ警察に通報してほしい。

緊急ダイヤル「110番」のほか、相談専用ダイヤル「#9110」でも対応可能ですので、ご利用してください。

(3) その他

委員～ 山菜採りの遭難者は地元の者ではないことが多い。

警察は管轄外における捜索や地元住民以外の者に対する捜索について、その対応に区別があるのか。

署説明～ 紋別署では、捜索のために最大限の人員を出しています。

捜索事案には、状況に応じて隣接警察署、北見方面本部、さらには北海道警察本部の機動隊から災害救助犬、航空隊からはヘリの出動を要請するなど組織を挙げて捜索に当たっています。

また、警察だけではなく、自治体や森林管理署等関係機関と協力して捜索活動を行っています。

委員～ オホーツク圏は山菜採りによる遭難ばかりではなく、海難事故も発生している。ヘリを要請してもかなりの時間を要する。

人口は少なく事故の発生もあまりないが、地元拠点となる基地を造るべきだと思う。今後、海上保安本部など関係機関への働きかけをお願いしたい。

署説明～ 北海道警察航空隊は、札幌、帯広に活動拠点があり、航空機による各種活動を行っています。

オホーツク圏にも基地があれば良いと思うが、経費等の問題もあり難しいと思われる。

今後、関係機関とも協議し、ドローンの活用等も含めて幅広く検討していきたい。

(4) その他要望・意見

なし

7 次回の開催予定

令和4年9月頃に開催を予定